

かしば ふみ 議員

3月5日(火)午後10時40分頃



1)市立伊丹病院に於ける宿日直許可の扱いについて

- ①市立伊丹病院に於ける医師の働き方改革について
- ②宿日直許可の活用は、すべての診療科を対象と捉えるかどうか
- ③宿日直許可で医師の労働時間はどのように変わるのか



2)教育のデジタル化と子どもの身体に及ぼす影響について



- ①学校におけるデジタル機器活用と使用時間について
- ②学校健康診査での視力検査の結果と傾向について
- ③デジタル機器活用と子どもの身体に及ぼす影響と今後の対策について

3)介護施設におけるBCP(災害時業務継続計画)の策定と今後の対応について

- ①市の社会福祉事業団が経営する入所施設でのBCP策定と訓練の実施状況
- ②市内の障がい者入所施設でのBCP策定と訓練の実施状況
- ③BCP策定に於ける伊丹市と介護施設の今後の連携について



日本共産党
伊丹市議員団
ニュース

伊丹市千僧1-1
784-8114
(直通)

第425号
発行
2024年
3月2日



ぜひ本会議の傍聴にお越しください。議会ホームページからライブ中継も見ることができます。

伊丹市手数料条例の一部改正条例 服部議員が賛成討論

この条例改正は、戸籍法の改正によるもので、これまで「戸籍謄本」や「戸籍抄本」の添付が必要であった行政手続きの際、申請書に「戸籍電子証明書提供用識別符号」の番号を記載すると、その添付が必要なくなるもので、「識別符号」の発行に手数料(400円)が必要となるものです。ただし、マイナンバーカードを保有している人はマイナポータルから無料で申請できることとなります。

これらの動きはマイナンバーカードの利用拡大、デジタル化の推進と一体で進められているものであり、個人情報漏洩の懸念があります。一方、マイナンバーカードを保有している人にとっては、利便性の向上につながるものでもあります。

これらのことから党議員団は、デジタル技術を使える人と使えない人の間に格差をつくってはならないこと、デジタル手続きだけではなく窓口などの対面相談窓口の拡充を求めて、「反対しない立場」から賛成としました。



服部よしひろ かしば ふみ
090-9044-0925 190-5464-9733

日本共産党伊丹市議会議員団
<https://jcp-itami.org/>